

フィガロの結婚

ストーリー

18世紀後半。スペイン・セビリャ近郊の、アルマヴィーヴァ伯爵邸での1日の出来事。

早朝、伯爵邸に仕えるスザンナとフィガロは今夕に控えた婚礼の準備中。その最中、伯爵がスザンナを自分のものにするため、「初夜権」を復活させようと企んでいることを知る。

片や、女中頭のマルチェリーナはフィガロとの結婚を夢見て、医師バルトロに手を貸して欲しいと頼む。フィガロに恨みを持つバルトロは「復讐だ!」と協力することに。

その後スザンナの元へ小姓ケルビーノがやってくる。「伯爵お気に入りの娘と会っているところを見つけられ解雇されたので、助けて欲しい」と。そこへさらに伯爵が登場し、事態は混乱。怒りの伯爵は、ケルビーノに罰として軍隊行きを命じる。

一方伯爵夫人ロジーナは、夫の愛が冷めてしまったことを嘆いている。伯爵を改心させるため、フィガロ、

スザンナと共に手を組むことに。フィガロは「女装させたケルビーノと伯爵を密会させ、その現場を夫人が取り押さえる」計画を思いつく。準備の為、ケルビーノを呼び女装させている最中、なんと伯爵がやってきた!! なんとかケルビーノを隠し誤魔化そうとするが、事態は窮地へ…。

伯爵夫人は作戦を変更し、自らスザンナに変装して伯爵と密会することに。一方フィガロは、借金裁判に負け、いよいよマルチェリーナとの結婚が避けられない状況に…と誰もが思ったそのとき、予想外の事実が発覚する。やがて結婚式が始まり、スザンナはその最中、こっそり逢引の手紙を伯爵に手渡す。

伯爵に手紙を手渡したのがスザンナだと知ったフィガロは、裏切られたと思い込み、逢引の現場にやってくる。そんな中、衣装を取り替えたスザンナと伯爵夫人が現れ、女たちの一世一代の芝居が幕を開けるー。

Cantoyama (カントヤマ)

2016年に発起したアンサンブルグループ。クラシック音楽にあまり親しみのない方にも分かりやすく、映画やお笑いの舞台を観る時のように、気軽に笑って楽しんでもらえる舞台をコンセプトとして活動している。グループ名はイタリア語で「歌う」の意を持つ「Canto(カント)」と地元「富山」を組み合わせたもの。

会場アクセス

富山県教育文化会館

〒930-0096 富山県富山市舟橋北町 7-1

【公共交通機関でのご利用】

富山駅より…徒歩 15分

地鉄電鉄富山駅より…徒歩 16分

市役所前バス停より…徒歩 8分

県庁前電停より…徒歩 4分



【駐車場】

駐車場は3ヵ所に分散しており、76台の収容が可能です。満車の場合は周辺の有料駐車場をご利用ください。

※県営富山中央駐車場を利用された場合は、駐車券を教育文化会館ロビー内の認証機で認証しますと、基本料金(1時間分)が無料となります。